

No.144  
**県議会**  
**とちぎ**

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20  
 TEL 028-623-3772  
 FAX 028-623-3755  
 E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp  
 HPアドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/>

**第381回通常会議(令和3年11月30日~12月17日)**

**令和3年度一般会計補正予算、自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の制定等を可決**

第381回通常会議では、知事から栃木県一般会計補正予算など24件の議案の提出及び1件の報告があり、審議にあたり質疑・質問と委員会審査が行われました。また、最終日には議員から成長産業における人材育成の拡充を求める意見書など3件の議案が提出されました。これらの27件の議案は、全て原案のとおり可決されました。

請願・陳情は、1件が採択、2件が継続審査となりました。補正予算においては、新型コロナウイルス感染症への対

応として、患者受入医療機関の入院病床や自宅療養者への支援体制の確保を図るとともに、臨時医療施設の整備や無症状者に対するPCR等検査の無料化などに取り組むほか、県内観光需要の回復促進に向けた事業などが盛り込まれました。

また、第380回通常会議から継続審査となっていた令和2年度栃木県歳入歳出決算など8件が認定され、令和2年度栃木県電気事業会計未処分利益剰余金の処分など5議案が原案のとおり可決されました。

**可決された主な議案**

- 令和3年度栃木県一般会計補正予算(第11・12号)
- 栃木県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の制定について
- 栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正について
- 栃木県手数料条例の一部改正について
- 栃木県道路占用料徴収条例の一部改正について
- 栃木県都市公園条例の一部改正について
- 栃木県警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例の一部改正について

**可決された意見書**

- 成長産業における人材育成の拡充を求める意見書
- 原発事故に伴う農林水産物・食品等の輸入規制の撤廃を求める意見書
- 衆議院小選挙区について市町村の区域に基づく区割りを求める意見書

**採択された陳情**

- 地球温暖化防止、「2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロ」への取り組みに関わる陳情書

1月15日に県議会議事堂にて開催された「いちご王国・栃木の日」記念セレモニーの様子



※感染防止対策を講じた上で撮影しています。

**とちまるくんのなるほど! 県議会 ~グリーン社会実現特別委員会~**



近年、気象災害の頻発化・激甚化をはじめ、様々な面で気候変動の影響が顕在化しています。県議会では、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現と持続可能な社会の構築に向けた対応策について検討するため、**グリーン社会実現特別委員会**を令和3年3月に設置しました。本委員会では、次の3つの重点テーマを設けて調査研究を実施しました。



▲参考人招致の様子



**重点テーマ1**

**気候変動適応センターを中核とした適応策の推進**

気候変動の影響に備える「適応策」に関する取組について調査研究や委員間討議を行いました。6月11日には環境省や国立環境研究所の参考人から説明を受けて質疑を行いました。



**重点テーマ2**

**カーボンニュートラルに向けた施策の推進**

気候変動の原因となっている温室効果ガスの排出を抑制する脱炭素の取組について調査研究や委員間討議を行いました。7月29日には東京電力パワーグリッド株式会社や東京ガス株式会社の参考人から説明を受けて質疑を行いました。

**重点テーマ3**

**経済と環境の好循環をつくる産業政策の推進**

経済の活性化と環境の保全を両立させ、将来に向けて経済と環境の好循環をつくる取組について、調査研究や委員間討議を行いました。8月25日には産業技術総合研究所、10月7日には本田技研工業株式会社、日産自動車株式会社の参考人から説明を受けて質疑を行いました。



▲調査活動の成果を報告する 螺良昭人委員長(11月30日)

調査と議論を積み重ねて報告書を取りまとめ、第381回通常会議本会議において調査活動の成果を報告しました。(報告書は右の2次元コードからご覧になれます。)





# 第381回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容



代表質問 (12/2)

こばやし みきお  
**小林 幹夫**  
(とちぎ自民党)  
[鹿沼市]

## ○新型コロナウイルス感染症の次の感染拡大への対応

問 11月に国が決定した「次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像」を踏まえ、次の感染拡大に備えてどのように取り組んでいくのか。

答【知事】医療の逼迫度合いを重点的に監視する新たな警戒度基準を設定し必要な対策を機動的に講じるほか、保健・医療提供体制確保計画に基づき、病床の確保や臨時医療施設の整備、宿泊療養施設の追加確保などの医療提供体制等の強化を図るとともに、ワクチン追加接種に必要な市町支援、無症状者に対する無料検査の実施体制の構築など、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ることができるよう必要な対策に万全を期す。

## ○カーボンニュートラル実現に向けた県の取組

問 カーボンニュートラル実現のためのロードマップ案に掲げた理念等を条例で明らかにすることなどにより、県民や事業者など各主体の自主的・積極的な取組を促し、その実現につなげていくことが必要と考えるがどうか。

答【知事】カーボンニュートラルの実現には、各主体の理解や共感を得ながら、目標達成に向けたビジョンを共有し、オールとちぎで取り組む機運を醸成することが重要である。そのため、実現に向けた基本理念や各主体の責務と役割等を明示した新たな条例について、2022年度中の制定を目指す。また、制定にあたっては、幅広く意見を聴き、経済と環境の好循環によるグリーン社会の実現につながるものとなるよう取り組んでいく。

このほか 新型コロナウイルス感染症第5波の収束を受けた今後の経済対策、自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実など



一般質問 (12/2)

かとう しょういち  
**加藤 正一**  
(民主市民)  
[足利市]

## ○栃木県新型コロナウイルス感染症新警戒度指標と今後の各種感染症対策

問 政府の基本的対処方針改定に伴い、本県でも県版警戒度レベル基準を改正した。県内感染がどんな状況だと、飲食店への営業時間短縮等の要請を行い、まん延防止等重点措置又は緊急事態宣言の対象となるのか、また、この判断に県版新指標をどう活用するのか、その内容及び考え方を伺う。さらに、第6波に備えた対策にどう取り組んでいくのか。

答【知事】社会経済活動との両立にも配慮しながら、飲食店等への営業時間短縮等の制限はレベル2以上で要請し、まん延防止等重点措置はレベル2以上、緊急事態措置はレベル3以上で感染状況に応じて適用される。第6波

に備え、医療・療養体制を強化するほか、市町がワクチン追加接種を円滑に進められるよう支援していく。

## ○障害者・高齢者等に配慮した交通安全施設の整備

問 県警察は今年度の県交通安全実施計画で、Bluetoothを活用した歩行者等支援情報通信システム(高度化PICS)の整備を推進し、高齢者・障害者等の安全な移動を支援するとした。誰もが安全で円滑に通行できる交通環境の整備にどのように努めていくのか。

答【警察本部長】生活関連施設周辺の重点整備地区を中心に、24時間信号情報の提供が可能な高度化PICSや歩行者青信号の経過時間を表示する信号機の整備など、障害者や高齢者の歩行を支援する交通のバリアフリー化を進めていく。

このほか ライフスタイルの多様化を踏まえた関係人口創出による地方創生、SDGs推進による本県の産業振興など



一般質問 (12/2)

のざわ かずいち  
**野澤 和一**  
(公明党)  
[宇都宮市・上三川町]

## ○ウッドショックをウッドチャンスへ～県産木材の利用促進と生産強化～

問 とちぎ材の利用促進に向け、林業大学校(仮称)など中大規模建築物の木造化にどのように取り組むのか。また、素材丸太の増産に向け、伐採・更新・保育を省力化できる、とちぎ独自の伐採方法をどのように導入するのか。

答【環境森林部長】林業大学校(仮称)は、建築部材や構造等を見える化し見学できるものとするとともに、良質なとちぎ材の使用によりコストや工期上のメリットを明らかにし、中大規模建築物の木造化を促進していく。また、伐採率を高めた「択伐」など様々な伐採率の実証を行い、適切な伐採方法の導入による森林の若

返りと素材丸太の増産を図っていく。

## ○SDGsと地方創生～県の都市計画の考え方～

問 市街化調整区域内では、土地開発や住宅建築等が制限されるため、若者等の流出を助長し、こども会の消滅、小・中学校等の廃校など、地域活力の減退を招いている。こうした地域の創生につなげるために、開発規制を地域の実情に応じて柔軟に見直す必要があると考えるがどうか。

答【知事】近年の人口減少、高齢化の進行により、市街化調整区域において、地域活力の維持が困難になるなどの課題が顕在化している。地域活力の向上を図るため、地区計画制度の運用や開発許可基準を見直してきたが、地域の実情を的確に捉え規制の見直しを検討するなど、地域の維持・発展が実現できる県土づくりを進めていく。

このほか こども医療費の無償化拡大、公立夜間中学設置の方針など



一般質問 (12/6)

せきや のぶゆき  
**関谷 暢之**  
(とちぎ自民党)  
[那須塩原市・那須町]

## ○いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を契機としたブランド力の向上とレガシー

問 両大会を契機とした本県のブランド力向上と、総合スポーツゾーン等新施設やスポーツ・文化の振興への取組などレガシーの創出・継承が一過性にならないよう、不断の取組が必要と考えるがどうか。

答【知事】様々な場面で本県の魅力を伝えるとともに、終了後も旬の情報を継続的に提供できるようデジタルマーケティングの手法を活用した新たな仕組みの検討などブランド力向上に努める。また、レガシーが未来の人づくりや地域づくりにつながるよう、スポーツを楽しめる環境づくり等に努めるほ

か、オールとちぎで展開する環境配慮の取組や日本一のおもてなしが県民の行動変容につながるよう取り組む。

## ○不登校児童生徒への支援とフリースクール

問 不登校児童生徒への支援は、教育機会確保法及び文部科学省の「フリースクール等に関する検討会議」報告書の趣旨に沿って取り組むべきと考えるがどうか。また、学校と適応指導教室、フリースクール等の民間施設との連携と役割をどのような方針で捉えるのか。

答【教育長】学校訪問や電話相談等による未然防止を含めた対応とともに、スクールカウンセラー等の配置を拡充し個に応じた支援を行っている。今年度からフリースクール等の民間団体との連絡会議を開催した。今後も適応指導教室の機能強化のほか、民間団体とも相互に協力・補完し合い支援できるよう連携構築に努める。

このほか 今日の県行政に求められる「専門性」の向上と推進体制、危機管理体制の強化など



一般質問 (12/6)

のむら せつこ  
**野村 せつ子**  
(共産党)  
[宇都宮市・上三川町]

## ○気候危機にどう立ち向かうのか～知事の姿勢とロードマップ～

問 10年後も石炭火力や原子力に依存する国のカーボンゼロ政策をどのように評価しているのか。また、本県のロードマップ案は、温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比50%削減するとしているが、再生可能エネルギーの高い可能性を持ち、温室効果ガス吸収源にも恵まれた本県は、より野心的な削減目標を設定し、国の取組をリードすべきと考えるがどうか。

答【知事】国の目標は野心的で挑戦的な極めて高いものであり、日本の意欲を内外に示したものと大いに評価できる。また、本県では2030年度の温室効果ガス排出量について、国を上回る50%削減という目標を掲

げたところである。今後とも、カーボンニュートラル実現の先進県を目指し、全力で取り組んでいく。

## ○予期しない妊娠への総合的な支援

問 にんしんSOSとちぎ相談窓口について中高生などにも周知し、気軽に相談しやすくするため、どのように取り組むのか、また、産科医などの専門家や、性暴力被害者支援などを行う機関、NPO、学校現場等との連携が必要であるが、相談者を総合的に支援するネットワークをどのように構築し機能させるのか。

答【保健福祉部長】学校にリーフレット等を配布するとともに、SNSを活用して情報を発信するなど、若年女性への周知に取り組んでいる。また、支援団体等も加えた連携会議を開催し、事例検討や情報交換を行うことにより、支援体制の強化を図る。

このほか 同性婚とパートナーシップ宣誓制度の実施、田川・姿川の氾濫から住民を守るためになど



一般質問 (12/6)

よしば しげる  
**吉羽 茂**  
(とちぎ自民党)  
[宇都宮市・上三川町]

## ○高齢者の生きがいのづくりの推進

問 コロナ禍により高齢者の暮らしに関わる取組は大きな制限を受けたが、ワクチンの接種が進み社会活動が再開し始めている今日、高齢者が社会参加できる環境づくりが改めて求められている。生涯現役社会の実現に向けて、高齢者の生きがいのづくりの推進にどのように取り組んでいくのか。

答【知事】高齢者の社会参加活動に関する相談・情報提供や就労支援、人材育成などに取り組んでいるほか、意欲のある高齢者を「やってみっぺいちご隊」として募集開始したところであり、多くの方の参加と活躍を期待している。今後とも市町や関係機関と連携して生涯現役社会の実現を

目指していく。

## ○高齢運転者による交通事故防止対策

問 高齢運転者による交通事故は超高齢化社会が抱える深刻な問題であり、これまで悲劇が繰り返されてきた。国は、道路交通法を改正し、運転基準の厳格化を来年度に予定しているが、これを見据え、高齢運転者による交通事故防止対策にどのように取り組んでいくのか。

答【警察本部長】高齢運転者に対し、運転者サポートセンターの活用促進や参加・体験・実践型の交通安全教育に努めているほか、「安全運転サポート車」の普及啓発や、免許の自主返納制度の周知等に取り組んでいる。新たに導入される運転技能検査を適正に運用するとともに、各種対策を積極的に推進していく。

このほか 地域共生社会の実現に向けた取組、宇都宮市中心部を流れる田川の整備状況など



# 質疑・質問日 令和3年12月2日、6日、7日



一般質問 (12/6)  
かとう ゆうじ  
**加藤 雄次**  
(とちぎ自民党)  
[日光市]

## ○とちぎの学校教育 ～学校における働き方改革の推進～

**問** 学校における働き方改革を実現するためには、校長が学校の方針を明確に示した上で、個々の教員の状況を的確に把握し、きめ細かく指導していくことが求められていると考えますが、県は、校長の役割を踏まえ、今後どのように学校における働き方改革を進めていくのか。

**答**【教育長】学校における働き方改革推進プランに基づき、公立学校長を対象とした研修や、モデル校での実践の支援により、教員の意識改革と校内の業務改善を進めてきた。今後とも管理職を対象とした研修の充実など継続的な勤務環境の改善に努め、学校における働き方改革を推進する。

## ○日光国立公園の 魅力向上に向けた取組

**問** 日光国立公園満喫プロジェクトにおいて、魅力向上を図る取組が進められてきたが、地域住民にはあまり知られていないと感じており、これが浸透すれば、関連事業への更なる協力や自発的な取組との連携も可能になると思われる。今年度からステップアッププログラム 2025 がスタートしたことから、取組の充実強化やPR方法等の工夫が必要と考えるが、今後どのように進めていくのか。

**答**【環境森林部長】新たなプログラムに基づき、「NIKKO MaaS」のサービスを開始し、自然ガイドツアーなどのウェブサイトの構築も進めている。こうした取組を、市の広報紙等を通じ周知を図るとともに、地元意見の一層の反映に努め、地域と一体となってプロジェクトを推進していく。

このほか 観光産業の回復に向けた取組、スマート農業に対応した基盤整備の推進など



一般質問 (12/7)  
ひらいけ ひろし  
**平池 紘士**  
(とちぎ自民党)  
[栃木市]

## ○県立美術館 50 周年、 県立博物館 40 周年、 県民ゴルフ場 30 周年の取組

**問** いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催に合わせ、県立美術館50周年、県立博物館40周年、県民ゴルフ場30周年をどのようにPRし、周年事業を実施する考えか。

**答**【知事】美術館では半世紀を振り返る企画展や、国内外で人気のある美術作品に触れ親しむことができる企画展を開催する。博物館では本県の歴史と文化を再認識してもらえるような特別企画展の準備を進めている。県民ゴルフ場では記念式典やコンペを開く予定である。美術館、博物館の企画展を両大会の文化プログラムとして、一体的に周知するとともに、3施設が

連携したPRにも取り組んでいく。

## ○情報コミュニケーション条例と 栃木県障害者ICTサポートセンター

**問** 情報コミュニケーション条例の目指すべき方向性と、それらを栃木県障害者ICTサポートセンターにおける活動を通じてどのように具現化させようと考えているのか伺う。

**答**【保健福祉部長】本条例には、社会参加に資するICT機器の利活用の推進を始め、災害時等の連絡体制の整備や「いちご一会とちぎ大会」を契機とした意思疎通支援の充実に向けた内容を盛り込みたい。これらの実現に向けて、障害者ICTサポートセンターの活動を通して、障害特性に応じたコミュニケーション手段の利用を促進し、快適な日常生活や働きやすい雇用環境の確保、意思疎通支援者の養成、さらには災害時における情報の伝達の円滑化を推進していく。

このほか 無電柱化、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会のテロ対策など



一般質問 (12/7)  
あおき かつあき  
**青木 克明**  
(えがお)  
[矢板市]

## ○脱炭素社会実現に向けた取組

**問** 11月に公表した「2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ案」には、太陽光や地熱、バイオマス等のプラントの具体的な数値目標等がなく、再生可能エネルギー導入拡大に向けた強いメッセージになっていない。具体的な全体計画を早急に示し、多くの企業等の協力を得ながら取組を推進していくべきと考えるがどうか。

**答**【知事】ロードマップ案では、工場、事業場、家庭等における太陽光発電設備の導入目標を定めており、とちぎ再生可能エネルギー MAX プロジェクトを推進する中で、賦存量調査の結果を踏まえ、中間目標やアクションプランを策定していく。

## ○魅力ある人材の教員登用

**問** 学校教育の多様化や活性化のためには、優れた知識経験を有する社会人を登用することのできる特別免許状をより活用すべきであり、特に英語は外国人教員による指導等が必要と考える。特別免許状を活用し、小・中・高等学校の教育力向上に取り組むべきと考えるがどうか。

**答**【教育長】小学校高学年への教科担任制の導入も見据え、専科教員の配置や外部人材の活用にも努めている。英語教育では、ALTの配置に加え、教員採用試験で特別選考を実施し、英語力のある人材を採用している。特別免許状については、国の動向を見極めつつ、学校現場の声などを参考に研究していく。

このほか コロナ禍における医療提供体制の強化、マイクロツーリズムの取組など



一般質問 (12/7)  
みもり ふみのり  
**三森 文徳**  
(とちぎ自民党)  
[那須烏山市・那珂川町]

## ○今後の米づくりと作付転換の推進

**問** 更なる作付転換には、大きな困難が伴う。主食用米から、飼料用米などに転換するのか、露地野菜などの園芸作物に転換するのか、どちらを選ぶにしても、これまで以上に支援が必要であり、県独自の対策を講じるべきと考える。本県の米づくりと作付転換の推進について、今後どのように進めていくのか。

**答**【知事】米づくりについては、品種構成の見直しやブランド力向上による販売強化に取り組むとともに、生産コストの低減や輸出用米の拡大などを図る。また、作付転換の加速化に向けては、露地野菜の産地づくりを推進するほか、大豆の収穫機械の導入等を支援していく。また、飼

料用米への転換や、飼料用とうもろこしなどの生産拡大を推進していく。

## ○次期県立高校再編計画

**問** 次期再編計画では、現在、普通系学科7、職業系専門学科3となっている募集定員の比率をどう考えるか、また、単位制や中高一貫教育校の設置拡充も含め、普通科の特色化をどう進めていくか。また、特例校を含め、周辺校をどのようにしていくのか。

**答**【教育長】有識者会議では、普通科と職業系学科の募集割合を維持すべき、普通科には単位制の導入を促進すべきや、中高一貫教育校を増やすべきとの意見が出された。特例校については、地域との連携・協働による特色ある学びなどを推進すべきとの意見が挙がった。今後は、会議からの提言を踏まえ、県立高校の将来の構想を策定していく。

このほか 総合的な文化振興、とちぎ食肉センターの今後の運営など



第381回通常会議 本会議 採決の様子

# 県議会ホームページのご案内

## 録画中継等の視聴

県議会ホームページでは、今回の**質疑・質問**のほか、過去の本会議の映像や県議会広報テレビ番組等をご覧ください。



栃木県議会 検索

## 生中継もご覧いただけます

本会議（質疑・質問）や予算特別委員会（総括質疑）は、とちぎテレビ、栃木放送（ラジオ）、県議会ホームページで生中継を行っています。（映像は手話通訳付きです。）



第381回通常会議 本会議 質疑・質問の様子

※議席や質問者席ではアクリルボードを設置するなど飛沫防止対策がされているため、マスクを外しての発言が認められています。

## 会議録等の検索

県議会ホームページでは、下記のような検索を行うことができます。

- ◇本会議や委員会の会議録
- ◇議案
- ◇意見書・決議書
- ◇請願・陳情の議決結果
- ◇各会派の議案に関する賛否状況 など

2次元コードを読み取るか、「栃木県議会」と検索してください。県議会ホームページでは、このほかにも本会議の情報や議員名簿、委員会の紹介などを掲載しています。

## 用語説明の閲覧

県議会ホームページでは、下記のような用語の説明を掲載しています。

### 議案

議会の議決を得るため、知事、議員又は委員会が議長に提出する案件のことをいいます。

### 代表質問

所属する会派を代表して行う質問です。一定の議員数を有する会派ごとに政策上の問題を調整して行われます。代表質問以外は、一般質問といえます。

### 常任委員会の主な活動

6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に属する議案・請願等の審査や事務の調査等を行っています。

第381回通常会議において付託された議案について、11月30日、12月9日に審査及び採決が行われました。各委員会で行われた主な活動についてご紹介します。

#### 県政経営委員会

11月30日に、職員の給与に関する条例等の一部改正について審査を行いました。  
12月9日には議案6件の審査を行いました。また、いちご一会とちぎ国体冬季大会の開催概要について報告を受け、質疑を行いました。

#### 生活保健福祉委員会

議案8件の審査を行いました。また、栃木県障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例(仮称)の制定や犯罪被害者等支援に係る法律相談事業及び見舞金事業などについて報告を受け、質疑を行いました。

#### 農林環境委員会

議案3件の審査を行いました。また、栃木県水源地域保全条例(仮称)や国内での特定家畜伝染病の発生状況及び県の対応などについて報告を受け、質疑を行いました。  
開会日の11月30日には、本会議において琴寄委員長が特定テーマ「地域農業を支える担い手の確保について」の調査報告を行いました。



▲報告を行う琴寄昌男委員長

#### 経済企業委員会

議案1件の審査を行いました。また、ベトナム社会主義共和国ファム・ミン・チン首相一行の来県や鬼怒水道用水供給事業及び鬼怒川左岸台地地区工業用水道事業に係る新料金について報告を受け、質疑を行いました。

#### 県土整備委員会

議案3件の審査を行いました。また、巴波川地下捷水路整備における模型実験動画の公開や県営都市公園の民間活力導入(Park-PFI等)などについて報告を受け、質疑を行いました。

#### 文教警察委員会

議案5件の審査を行いました。また、令和4年栃木県警察基本姿勢及び重点目標について報告を受け、質疑を行いました。  
このほか、令和4年2月に移転予定の宇都宮東警察署の新庁舎整備状況や効果について、1月13日に現地調査を実施しました。



宇都宮東警察署(新庁舎)を視察する委員の様子▶

### 県議会トピックス

#### 〇「いちご王国・栃木の日」記念セレモニー開催

1月15日に県議会議事堂1階エントランスホールにおいて、「いちご王国・栃木の日」を記念するセレモニーが開催され、阿部寿一議長が出席し、祝辞を述べました。  
セレモニーでは宇都宮短期大学附属高校の生徒たちによる「莓と花のファッションショー」や福田富一知事と「いちご王国」アンバサダーとの対談などが行われ、栃木のいちごの魅力を発信しました。



▲祝辞を述べる阿部寿一議長



▲「いちご王国」アンバサダーとの対談の様子

#### 〇いちご一会とちぎ国体冬季大会が開幕

1月24日から1週間にわたり、いちご一会とちぎ国体冬季大会が日光市を会場として開催されました。24日の開始式には、阿部寿一議長が出席し、歓迎のことばを述べました。  
冬季大会では、スケート各種競技とアイスホッケーが開催され、本県出身の選手も多く活躍しました。  
国体の本大会及び障害者スポーツ大会は本年10月に開催を予定しています。



▲歓迎のことばを述べる阿部寿一議長



▲県旗入場の様子

#### 表彰

第381回通常会議初日に、地方自治功労等の功績により、木村好文議員(在職30年以上)、螺良昭人議員(同20年以上)ほか11名(同10年以上)が、栃木県議会、全国都道府県議会議長会、栃木県知事から表彰されました。



▲表彰の様子

### 議会議事堂へようこそ

議会議事堂の1階はどなたでもご利用いただけます。  
展示コーナーでは、議会について学べるパネル展示やタッチパネルでの県議会クイズに挑戦することができるほか、議事堂カフェでの食事もお楽しみいただけます。また、赤い絨毯が美しいエントランスホールの階段は、映画の撮影等にも使用されています。



▲展示コーナー



▲映画「総理の夫」の撮影の様子  
©「総理の夫」製作委員会



#### 〈県庁団体見学のご案内〉

小学生などの社会科見学やおおよそ10名以上の団体の皆様を対象に、議会議事堂や県庁舎の見学案内を行っています。  
議事堂では、6階傍聴席からの議場見学や議会案内ビデオの視聴ができます。  
【団体見学の問い合わせ先】 広報課県民プラザ室 ☎028-623-3757



▲議場見学の様子(小山市立中小学校6年生の見学)



▲議会案内ビデオの視聴の様子

### 次回の通常会議

- 2月17日(木) 本会議(開議、議案上程)
- 2月21日(月)、24日(木)、25日(金) 本会議(質疑・質問)
- 2月28日(月) 常任委員会
- 3月 3日(木) 予算特別委員会(総括質疑)
- 4日(金) 常任委員会、予算特別委員会(採決)
- 8日(火) 本会議(採決)
- 9日(水) 常任委員会
- 15日(火) 予算特別委員会(総括質疑)
- 16日(水) 常任委員会、予算特別委員会(採決)
- 18日(金) 本会議(採決、散会)

※予算特別委員会(採決)は午後2時、その他は午前10時開始予定。日程は変更となる場合があります。詳細は県議会HPでご覧いただけます。

